

11/19 改

自民が改憲推進本部改組方針

改憲「実現本部」に

自民党的茂木敏充幹事長は18日、時事通信のインタビューで、総裁の直轄機関として設置している憲法改正推進本部（衛藤征士郎本部長）を「憲法改正実現本部」に改組する方針を明らかにしました。

茂木氏は改憲に向け「機は熟している」とし、「実現本部」の改名について「（党

元國家公安委員長、事務局長には新藤義孝前公約でも実現という言緒長、最高顧問には安

葉を使っている。「ミニ・システムが強まつた表現だ」と説明しました。岸田文雄首相は10日午後、記者会見で「覚悟を起用する方向で調整しています。古屋氏は改憲右翼団体の日本会議議員団の会長です。高市早苗氏は同僚で、安倍晋三元首相と一心に力を固める新たな「改憲シフト」です。

総選率の結果、衆院で改憲賛成議を必要とした。内閣府は「改憲を守っていれば平和」と信じ込んでいる方がいる」と述べました。

新藤氏は同職を務めます。安倍氏の強い後押しで政調会長に就任した高市早苗氏も同副会長です。党の改憲推進部門を日本会議勢力で固める新たな「改

憲シフト」です。改憲賛成議を必要とした。内閣府は「改憲を守っていれば平和」と信じ込んでいる方がいる」と述べました。

3-10議席を上回った

ことを受け、岸田首相

をはじめ茂木敏充幹事長、細田博之衆院議長などから改憲をあおる発言が相次ぎ、高市政

調会長は「憲法を守

ること

を

う